エビガラシダ

Cheilanthes chusana Hook.

選定理由 暖地性の常緑シダ植物で、紀伊半島以西に希に分布する。本県では生 育地・個体数ともに少なく,道路工事や吹き付け,農地改良工事など

で生育範囲が狭められており、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 別府湾沿岸域,豊後水道後背地域,石灰岩地域

ホウライシダ科 Parkeriaceae

分布域 本州(奈良・和歌山・岡山・広島),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・

宮崎・鹿児島)

朝鮮半島南部、中国、インドシナ

カテゴリー

大分県 IB 環境庁 掲載なし 生育環境 | 低地のやや日の当たる石垣や道路の法面。

現 県内に現存する生育地は数か所で,個体数が激減している。

ヒメウラジロ

Cheilanthes argentea (Gmel.) Kunze

ホウライシダ科 Parkeriaceae

選定理由

岩手県以南に分布する小型シダ植物。県内に広く分布するが,道路工 事や吹付工事などで消滅した生育地がある。園芸価値が高いため、人 による採取が懸念される。

県内分布 耶馬渓・国東丘陵地, 姫島・国東海岸, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域,

豊後水道域,豊後水道後背地域,石灰岩地域,大野川上流域

分布 域 本州(岩手·関東中部以西),四国,九州(福岡·佐賀·長崎·熊本·大分·宮崎· 鹿児島),沖縄

シベリアからマレーシア

カテゴリー

準 大分県 環境庁 ||

生育環境 | 低地の日当りのよい岩上や路傍の石垣。

現 状 │ 県内各地にやや希に分布するが、「石灰岩地域」には生育地が比較的 多い。どの生育地も個体数が減少傾向にある。

オトメクジャク

Adiantum edgeworthii Hook.

選定理由

日本では本県だけで自生が確認されている。水田の畦畔や路傍の石垣 などに生育するため人為的な影響を受けやすく、個体数も減少してお り,絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布

耶馬渓地区,別府湾沿岸域

ホウライシダ科 Parkeriaceae

分布域|

九州(大分) 中国東北部からフィリピン,インド

牛育環境 | 低地の水田の畦畔や道路法面の石垣。

カテゴリー

大分県 IB 環境庁 II

現

県内の3か所で生育が確認されている。園芸的価値が高く,採取によ り個体数が減少している。農地の基盤整備工事で生育範囲が狭まって いる所もある。

備 県指定天然記念物「畳石のオトメクジャク」(安心院町)・「内成・田代 のオトメクジャク」(挾間町)